

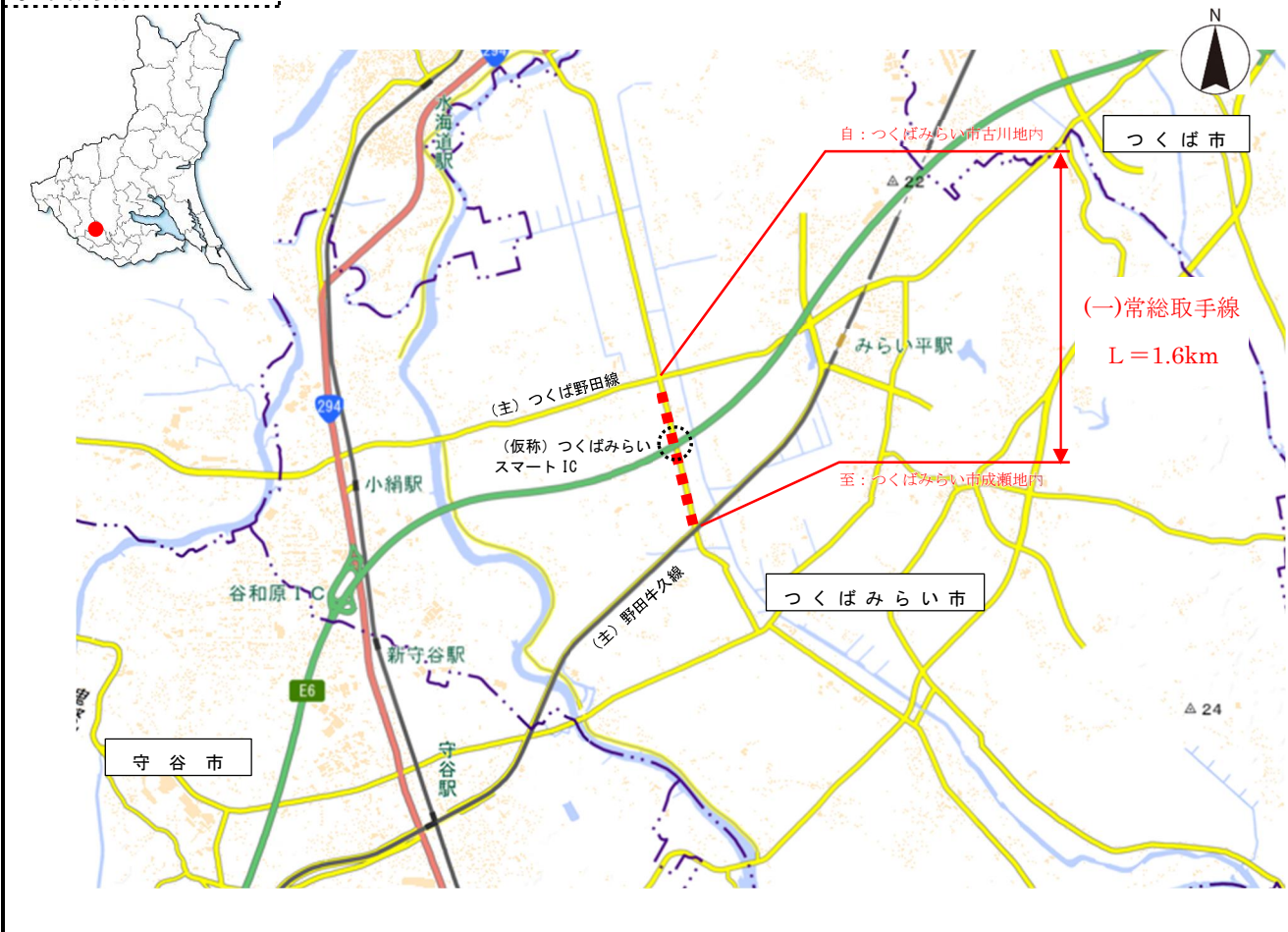
再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 一般県道 常総取手線 (仮称)つくばみらいスマートICアクセス		事業 区分	地方道	事業 主体	茨城県
起終点	自：茨城県つくばみらい市古川 至：茨城県つくばみらい市成瀬				延長	1.6km
事業概要	一般県道常総取手線は、主要地方道つくば野田線と主要地方道野田牛久線を接続する重要な幹線道路である。 常磐自動車道(仮称)つくばみらいスマートIC が令和元年9月に事業化され、大型車などの交通量の増加が見込まれることから、機能強化を図るため、つくばみらい市古川～成瀬までの約1.6kmの現道拡幅整備を行うものである。					
R2年度事業化		－ 年度都市計画決定 (－ 年度変更)		R4年度用地着手		R4年度工事着手
全体事業費		約15億円		事業進捗率		約76%
計画交通量		10,900台／日		供用済延長		0km
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		総便益	
	(事業全体)	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)	
	1.1		2.5 / 17 億円		19/19 億円	
	1.6 [2%]	4.1%	事業費: 1.2 / 16 億円		走行時間短縮便益: 18/18 億円	
	2.0 [1%]		維持管理費: 1.4 / 1.4 億円		走行経費減少便益: 0.89/0.89 億円	
	(残事業)	(残事業)	更新費: - / - 億円		交通事故減少便益: 0.33/0.33 億円	
	7.5		(事業全体)		(残事業)	
感度分析	9.3 [2%]	12.8%	交通量	B/C=1.01～1.2(±10%)	交通量	B/C=6.8～8.3(±10%)
	10.2 [1%]		事業費	B/C=1.03～1.2(±10%)	事業費	B/C=7.2～7.9(±10%)
			事業期間	B/C=1.1 ～1.2(±20%)	事業期間	B/C=7.5～7.6(±20%)
事業の効果等						
・ (仮称)つくばみらいスマート IC 及び常総取手線を整備することにより、谷和原 IC 付近の国道 294 号混雑区間の交通転換を促し、周辺道路の混雑緩和が図られる。 ・ 緊急輸送道路に位置づけられており、スマート IC の整備と合わせて機能強化が図られる。						
関係する地方公共団体等の意見						
スマートICの事業主体であるつくばみらい市から早期の整備要望を受けている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率100%、事業進捗率約76%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
引き続き、早期完了を目指し、工事を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
土量の過不足について他の公共事業への流用による事業費削減を検討するなどコスト縮減に努める。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)